

〔国際会議開催〕

申請者	名古屋大学 教授 間瀬 健二	2045016
国際会議名称	2015年パーベイシブ・ユビキタスコンピューティング国際会議 (UbiComp 2015)	
開催期間	2015年9月7日～9月11日	
開催場所	グランフロント大阪(大阪市北区)	
申請者の役割	組織委員長	

概要：

UbiComp は、パーベイシブコンピューティング、ユビキタスコンピューティング研究分野において最も著名な国際会議であり、コンピュータサイエンスの分野の中でもトップクラスの国際会議である。本会議は、毎年ユビキタスコンピューティングに関する第一線の研究者、技術者を集め、最先端の研究成果について発表機会を提供すると同時に、そこでの議論を通して、同技術分野の研究推進を行うものである。

今年は大阪のグランフロント大阪にて2015年9月7日～11日の5日間開催（うち本会議は9日～11日の3日間）された。総参加者数が歴代最多の861名となるなど、大変盛況な会議であった。併設の ISWC2015 (International Symposium on Wearable Computers) と併せて157件の口頭発表セッション（計30セッション）、68件のポスターセッション、43件のデモセッションが組まれた。

キーノートとして、2名の招待講演者があり、ATR 脳情報通信総合研究所の川人 光男氏は脳活動の時空間活動パターン分析およびニューロフィードバックによる脳活動の制御の可能性を語った。Rhizomatiks Research の真鍋 大度氏は、画像処理技術、センシング技術、機械学習技術、CG 技術などのパフォーマンス分野への適用を紹介した。口頭発表のセッションでは、屋内位置推定、ユビキタスヘルスケア、行動認識手法等がテーマとして取り上げられた。また、22の併設ワークショップが開催され、多数の参加者で活発な議論が繰り広げられた。

総計861名のうち、過半数が外国人の参加者であり、活発な討論がなされた。ユビキタスコンピューティングの基礎から応用までを広くカバーする優れた論文は、会議で公表されると同時に会議論文集として発行され、ACM のデジタルライブラリに登録された。